

5-3-2 就学、就労のワンストップサポート

困難を抱えた思春期・青年期のワンストップサポート

特定非営利活動法人 Switch では、2013年石巻市にユースサポートカレッジ石巻 NOTE（以下石巻 NOTE）を開設、困難を抱える思春期・青年期の若者の就学（修学）・就労をワンストップでサポートするカレッジとしてスタートした。思春期・青年期は、精神疾患の好発期でもあり、またライフイベントも多く、悩みや不安を抱えやすい時期でもある。メンタルヘルスの予防の観点からも、地域の特性に合わせたサービスが必要である。石巻 NOTE では「学ぶ・働く」という人々の生活におけるあたりまえの権利を獲得し、地域産業やまちに住まう人びとの力が彼らのリカバリーに必要な存在となり得るよう、コミュニティを巻き込んだ支援システムを構築している。

有給職業体験プログラム「バイターン」

不登校となり退学という選択をする思春期の高校生の背景には、様々な原因がある。生活困窮のため学業に専念することを諦め働くことを選択せざるを得なくなった、こころの病いで治療をしなければならなくなった、クラスでのいじめにより教室に入れなくなった、勉強についていけないため学校へ行けなくなったなど、要因は様々である。「ほんとうはこうなりたい」という希望を諦めざるを得ない環境にあることが多い。このような多様な課題を抱えた若者の自立支援の一つとして、有給職業体験プログラム「バイターン」（以下バイターン）の取組みがある。このプログラムは神奈川県田奈高等学校が、2011年神奈川県新しい公共事業のモデル事業として始めたのがきっかけで広がりはじめ、このプログラムを石巻 NOTE でも実施している。教育的視点で就労支援を行うバイターンは、支援がなければ就労が困難な若者と雇用のミスマッチが起きている地域の課題を解決する糸口となる要素も担っている。

地域と協働で、困難を抱える若者を支える枠組みを構築していくプロセスにおいて最大に効果があるのは、「地域のチカラ」である。一緒に働く地域の方々への支えは、自信を失った若者にとって実は非常にあたたかい支えのひとつであり、「自分はここにいて良いんだ」という所属意識を持つきっかけとなっている。例えば就労が困難だった若者のひとは、このバイターンの経験から、「海の匂いが好きになったので海のそばで働きたい」という希望を持ち、就職活動を行うようになった。人がリカバリーしていくプロセスで、そのサポートをする支援者は、彼らの人生のわずかな時間を共有するに過ぎない。しかし地域やそこに住まう人びとは、彼らの人生の多くの時間の中で、寄り添い見守ってくれる存在となる。

人と人とのつながりがこころの健康につながる

困難を抱えた若者は、地域から外へ出て行く力を発揮できにくかったりする場合があります。どうしても地元に残って自分のライフプランを立てていかなければならないことが起きてくる。彼らの多くは、実は「地域のチカラ」であり担い手となる若者である。いまや日本人の4人に1人は、一生のうち一度はメンタルヘルスの問題を抱えやすいと言われる時代となった。「こころの健康」を若者や地域住民とともに学び合い、支え合うまちになっていくことが、若者の自己実現の一助となることになろう。

（高橋由佳）